## (1) 令和4年1月1日(土)

昭和 42 年 8 月 12 日第三種郵便物認可 年 6 回 (1, 3, 5, 7, 9, 11月)1 日発行 第 599 号



2 Q	お	9	を加	次な	前	捱	峎	場ん	Ç	滘	9	りも	嶯	釕	せて	캵		5	山能	5,
活躍、ご発展を祈念いた	ともに、皆様の益々のご	をお願い申し上げますと	施策へのご理解とご協力	引き続き都の産業労働	を進めてまいります。	労働局一丸となって仕事	うした気概を持って産業	ると考えております。そ	力で立ち向かう必要があ	て、柔軟な発想により全	営や雇用の安定に向け	欲を持ち、中小企業の経	けず、果敢に挑戦する意	目の前の課題から目を背	た。職員一人ひとりが、	ろ。」と述べられまし	何もしないことを恐れ	て失敗を恐れるよりも、	郎氏は、「チャレンジし	の創業者である本田宗一

たします。

設備の購入経費を助成い 多角化に資する先端機械 ル支援、デジタル技術導

ドバイザーによる計画策

定から実行までのトータ

か、競争力強化、事業の 入経費の助成を行うほ

路開拓に要する経費や、 き実施してまいります。 費などへの助成を引き続 タル技術活用に要する経 生産性向上のためのデジ た事業者に対しては、販 国の一時支援金等を受け ルスの緊急対策と並行し これら新型コロナウィ

ながら、都内中小企業の ューノーマル社会も睨み て、アフターコロナのニ 重要となってまいります。 活性化を促す取り組みも 経営革新に向けた支援

まいります。 このほかにも、幅広い

ご発展を心より祈念いた

とさせていただきます。

しまして、年頭のご挨拶

うお願い申し上げます。 もご活用いただきますよ め細やかな支援を行って 支援メニューにより、き まいりますので、是非と 最後に、皆様の益々の

引のマッチングサイトで ある「ビジネスチャンス 情報を集約した受発注取 るほか、官民の入札、調達 ンラインを活用した商談 一方び出展支援を実施す 販路開拓支援では、オ

大手企業開発部門等との 試作品開発経費の助成等 マッチング機会の創出や ョンを促進することを目 ン多摩支援事業」では、 的とした「イノベーショ き運営してまいります。 ナビ2020」を引き続 多摩地域のイノベーシ

により、中小企業を支援

補人材の育成を支援して の意識改革や現地幹部候 り、実践力を身に着ける 展開に向けた人材育成に まいります。また、海外 ための個別支援を行って ついては、日本人経営層 るため、セミナーや育成 営層の中核人材を育成す してまいります。 **蔣座を実施する
ことによ** 、材育成支援では、経

	(3)		令和	4年	月1	日 (二	E)					т		団		連																		
	随峯専Atule 工団連ブースを視察の廣 三	How we have	Syntan 3 -				12月7日第3回参与会に和3年度人権問題研修が	就業部と工団連共催の令		催力		「示。3日間の会朝中は多く」(町田テクノパーク)を展し	小耕栽培キット世工振)と新た	難誘導塔AE-TOWE					ンッド	と変更となったが今回は	く受	ウイ	の見本市で東京ビッグサーゴ25回目となる国内最大級(				工団連か	展し避難誘導塔AE-T-ビ	に機動	(公社)世田谷工業振一(	業を支援する地域団体の活動を紹介する。今回も「ものづくり基盤技術強化支援事業」	ア等)への出展など、工		本フィ
_	の風景の共催人権研修		t 0 2		催し	同の	「たま工業交流展」は一新	展	3月は「たま工	うとして取り					を意識して熱心こ徳溝し	*	•	法により中小企		の止は労務対策上の重要	- 21	紹介と様々な要件についしな流れ」そして「裁判事例」しの	定されたパワハラ新法と一コの概念」「令和元年に制し」	子先生より 講演があった。 り			のすべ	活用し協同で開発したも一拡		を 展示	活動を紹介する。	1月にに谷区や区体力主催する国元会(見本市・フェ		ブトリー
1: F	30 1 分月 ~27	詞交歓会の概要》	しくお願い致しま	さいことまりでご里羅しては会長挨拶のみの	を縮小しての開	記念パーティーを中止務状況に鑑み、記念講演・	新型コロナウイルス感染	先般ご案内致しました	令和	彰 3 4 4	年度 式 年 新 崔の	なり 年 ず	らび 賀詞	に	ス等でご案内します。	詳細は別途HPニュー	方開発センター 人材	17時(4日6時) 17時(4日6時)	<ul><li>日村~4日金、10時~</li><li>日時:令和4年3月3</li></ul>	展示会の概要》	り  と  開催が 予定され  てお	なったが今年度は2年ぶの影響を受け開催中止と	コロナウイルス惑染拡大して来た。昨年度は新型つくり企業に活動をPR	出展し多摩地区のもの工団連は平成27年度よ	企業・団体が集結。	予定		拡販を企図し活動を続け一ハ		のであり、世田谷文文内(会	の補助金を活用し、会員企			日地
人工食に、防干下低くと言語」	会場:東京都中小企業日内、15時~17時 ■		ります。(開催日順) 日程は左記のとおりとな	まこ、分发り各重な説でご承知置きください。	は今後の感染拡大の動 一	す体。事	_	Ő	ト会	サ	S F		の参加をお待ちし	大変好	所多です。	ライン研修として開催(	開催です。コセミナーて	ルアップを目	伸スタッフのを担う中堅・	会社・組織の中核を		る中堅社員を対象にし	Ż	「日日」	ます。皆様のご参加をおまち「新入社員ビジネスマナー研	ナーニ(2月)を閉塞します。 ップ研修」(2月)に加えて「 工団連は今年度も「中堅社	工団連セミナ	イブリッド展示会とし	企業を支援した。同展は	会は「第25回いたばし産」(一社)栃橋産業連合	での成果も期待したい。	イン出展しておりこちら		来場し交流がなされ、今
・ 今禾 4 名 5 戸 1 一	+ 理 目 手 子 子 子 子 子 子 品		时 30 30 分 月 2		" 業	時年 3 17月 時10	■第4回参与会	ĺ	るを体的に改		の日 に 動 し ほ し ま し の し に あ し の し に あ し の し に あ し の し い 事 し の し つ し の し の し の し つ し の し つ し の し つ つ つ し つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	<b>大維持は 表長</b> の	を目的としたセミナー と意識改革・スキル向上 を	候補スタッフの	目し	催します。 した新テーマ研修を	する中堅社員を対象に			「問題解決研修」参加	利毒 レープワーク)で		◇内容・講師:人材教◇		ちもうしあげま  ヘ  切修 」 も 開催 し	<b>更こ4</b> 月こよ	・一開催の	世工振R-SUOZ /		EBUIRSAD			<b>M</b>	世工振共催講演会
こ戸矢置迎くたこし	い承知置きください。	今後のコロナウイルス感	う、各会議の詳細は引	・懇親会・16時0分~	第69回工団連通常総会	会場:東京都中小企業	17時 14時 30分~		皆様の参加をお待ち	ルマガ・案内チラシ	ムページのニュース、 が決定次第工団連ホー	<b>4月第1週開催で企</b>	したものです。	会してして	。 定 構 生	こて4月入社の新社会	工団連では今和4年	新学生学会にある (1997) - 一日子の「「「「「」」」 (1997) - 一日子の「「」」 (1997) - 一日子の「「」」 (1997) - 一日子の「「」」 (1997) - 一日子の「「	fr 開講。	゚プ゚		の一流講師が講義	为容•講師:人材教 四 3、00 0	マ央会館アレ	会場:銀座ブロッサ 17時 395	2日約9寺0→~	お知らせ	3°	あふれる講演が期待され	「新春径斉講寅会一の開	またしませる	者が来場し熱心に耳を傾り、各回とも多くの参加	に興味深いテーマであ樹氏の両氏が講演。とも	工学系研究科教授吉原直
Ē	TEL 三八一五一〇二二二 文京区本郷四一一五一一四 専務理事 小林賢二	会 京 区 商 工 協	-	井弘	⊸ 古屋 芳.		Ē	会長犬飼功	墨田一产产業。協一般社団法人		事務局長 金田栄	会長横山	江 戸 川 工 場 協一般社団法人		事務局長 宮 鍋 益	会長瀧澤一	葛飾区産業連										P	1	é	调	14	ł	<b>し</b> 皆	て
	三四 二			子 	彦 <b>仝</b>	£ [ 赤	 	<b>一</b> 会	会 世公 田 <sup>益</sup>		半 電 話 局	巖	会 		<u>治</u>	。	盟				ALL'S		Z			R								ういい
	務局職員一	₽ 平 甘 単 甘 業 会		八 野 良		坂 興 業 会	<sup>專務理事</sup> 山 崎 廣 孝	<sub>長</sub> 片平三郎	[谷工業振興協会		話 〇三―三三八〇―一二二二 中野区産業振興センター二階 局 中野区中野二―一三―一四	長溝口秀二	工業産業協会		務局長木村宏史	長遠藤久介	谷区工業協会		電 話 O三		代表取締役	株式会社 奈良機	電話○四:	代表取締役	株式会社 明	電話〇三〇	取締役会長 世	東工・バレックス	電 京都品川区豊町 三七:		和締役会長	光陽産業株式会社	電話 〇三(三九三〇)	代表取締役社長
	渡	<sub>Ĕ</sub> 產	般社団法人	務 局 長 伊	■ ■ ■ 産業 半	団 法	事務局長 坂井	<sub>会</sub> 長 石川	日 暮 工		則	会長廣瀬	品川 产 業		事務局長 岡田	<sub>会</sub> 長井口	高輪工業		○三(三七九○)八○一一(田区城南島二―五―七		奈良 自记	奈良機械製作所	六(二二四)二二五一 (二二四)二二五一	黒栁 貴宏	輝	(三六五五)五一六一	横 山 巖	ス株式会社	 	ロル	大 山 忠一	会社	(三九三〇)四一六〇	田 中 雄 大
	時	協 茂 会		伸?	宏 協 一 会		俊一	雅一	業 会 多摩		貴   司	隆 博	協 会 <i>練</i> 一		欣也	修一会	来 会 北 <sup>-</sup> 般	•	電話		会	一般社団法人 杤	電 東京都大	会	法人	電力	東京都昌	一般社団法人 日	電話	東京部女家 理 事	<b>享</b> 会 務	一般社団法人官	東京都	会
	the second second			A A			専務理事 菅野	代表理事 鍵谷敏	多摩高度化事業協同組合		会 長 井 口	1	<b>練馬產業連</b> 一般社団法人		電 話〇三(三九〇〇)三八一二東京都北区王子本町一―二二―三	長	<b>産</b> 社 電 業 法 人 連		◎ ○三(三九六二)○一三一	長	<sub>長</sub> 大島	板橋産業連合会	電話○三(三七三七)○七九七	長 舟久保利明	뿌	電話 〇三(三七一二)五一六四		心区産業連	電 話 ○三(三八一二)二〇七三 すうな区民センター内	▲ 本本	構岩 ■井	一般社団法人 富坂産業協会	東京都千代田区丸の内三-二-二	<sup>頭</sup> 三 村
	***						野 英 昭	ī 敏博	同組合		薫		合会		三二二 二二 二二 二二 二 二	正 美	合 会			同	隆 夫	会	<ul> <li>○プ○</li> <li>七ラ二</li> <li>九ザ二</li> <li>七内○</li> </ul>	利明	会	五ンネ   一タ   六   二 四内	雪 守 男	合会	ニンヨ   ○タ     七   - 三内国	丘   加 」	≝良 二夫		<b></b> ■ 二 ー 二 ー ル 二	明 夫



連

(4)

<b>自民党東京都連</b>	川瀬健 (二)	副株式会社 川瀬健二 工箱八時し在明石島創を社
4 年 度 予 算 要 望活動 実施日民 党 東 京 都 連 へ 令 和日民党東京都連指動を実施してき活動を実施してき活動を実施してき活動を実施してき活動を実施してき活動を実施してき超一月(19事項)につで自民党東京都連して自民党東京都連地方、都連からは東京都選出の多くの衆参両議員が参加された。当日は平が参加された。当日は平	そのことした印刷物の企画・ かとした印刷物の企画・ た。 変通して湿度を置いたの制物の企画・ た。 で取り扱う会社とな 加 たの法 で取り扱う会社とな に たっ で たっ で たっ で 取り た の 二 世代で 商業 町 町 工 まで で 取り の 辺 し て 流 専 門 工 場 と し て 元 世 代 で 商業 の 祖 し て 湿 し で 取 り 扱 う 会 社 代 で あ の 祖 し て 通 し で 取 り 扱 う 会 社 代 で 取 り 扱 う 会 社 代 で 取 り 扱 う 会 社 代 で 取 り 扱 う 会 社 の に た の 微 、 本 の に た の 後 、 本 の に 、 弊 社 の 工 場 に の し た の 間 物 の 企 画 ・ 本 か に か 、 か か し て 温 度 ・ 弊 社 の 工 し て 温 度 ・ 夢 社 の 二 一 本 か 、 本 か の 祖 で 、 か か の 祖 で 、 か か し て 二 一 た 、 か か 、 か 、 か か の し の 、 、 か 、 か 、 、 か の 一 の 一 、 か 、 、 か 、 、 の り か の 一 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	工場としての船出です。当年の一部でし
あった。 挨拶では り	ーパーカレンダー ーパーカレンダー ーパーカレンダー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
「工団」た。その後事務局より具 「工団」た。その後事務局より具	マしまいます。この紙はザン でしまいます。この紙はザン を行るフェアトレード で、SDG sの にで、SDG sの にで、SDG sの にで、SDG sの に でしまいます。しか	せの
2 「 「 「 「 「 「 「 」 、 」 「 」 、 」 、 」 、 」 、 」 、 」 、 」 、 、 」 、 、 」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	う指標があります。 に「感染症と闘う」というカー に「感染症と闘う」というカー に「感染症と闘う」をいいただい に「すべての人たちがコー たいますが、SDGsの171目 にしてもらいました。有難 に「すべての人たちがコー ただい ただい ただい たたります。 現 にです。こちらはバナナー たい、 たたちが に たたちが に たたります。 の ります。 して いただい たい た に で の の した に の の した の の し た い た に の の し た い た い の し た い の し た い の し た い の し た い の し た い の し た い の の し た い う の り し た い う の り し た い の の し た い う の り の の り し た い う の の の り し た い で い つ い た の の り し た い う の り し た い う の の り し た い う の り し た い つ し た い う の り し た い う の り し た い で の り し た い の の り し た い う の の り し た い う の り し た い う の り し た い う の り し に い う か し こ い う の し に で い う か し て の い う か し た う が い う い う い う い う い う い う い う い う い う い う い う い う い う い う い い つ し し い う い う い う い う い う い う い う い う し に い う い う い う い う い う い う い う い う に で い う い う い う い う い う い う い た い う い う い て の し に つ い ち い う い ち い う い う し に う い う い う い う い う い う い う い う い う い う い う つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	S S よ S
が体 のづくり中小企業の方 動を進めて行く。 。 が 体 派・東京都ならびに自民 党 したが今般の都連 ならのでくり中小企業の支援 したが今般の都連への 要望で一旦終了した。 のづくり中小企業の支援 したが今般の都連への 要望でスター		日本 は ことがわかります。この ように、知らず知らず知ら ですので、ご一覧いただ に、このような活 に、このような活 に、このような活 に、このような活 に、このような活 に、このような活
	合力で頼りになる都 2021年、都産技研は設立100周年を迎えましの起こる現在社会において、私たちはこれまで以上に東京	bt.
中小企業の5G・IoT・ 普及促進事業	新技術・新製品につながる研究	
	は つい フ レスケア産業支援室 し 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	



SUSCARE